

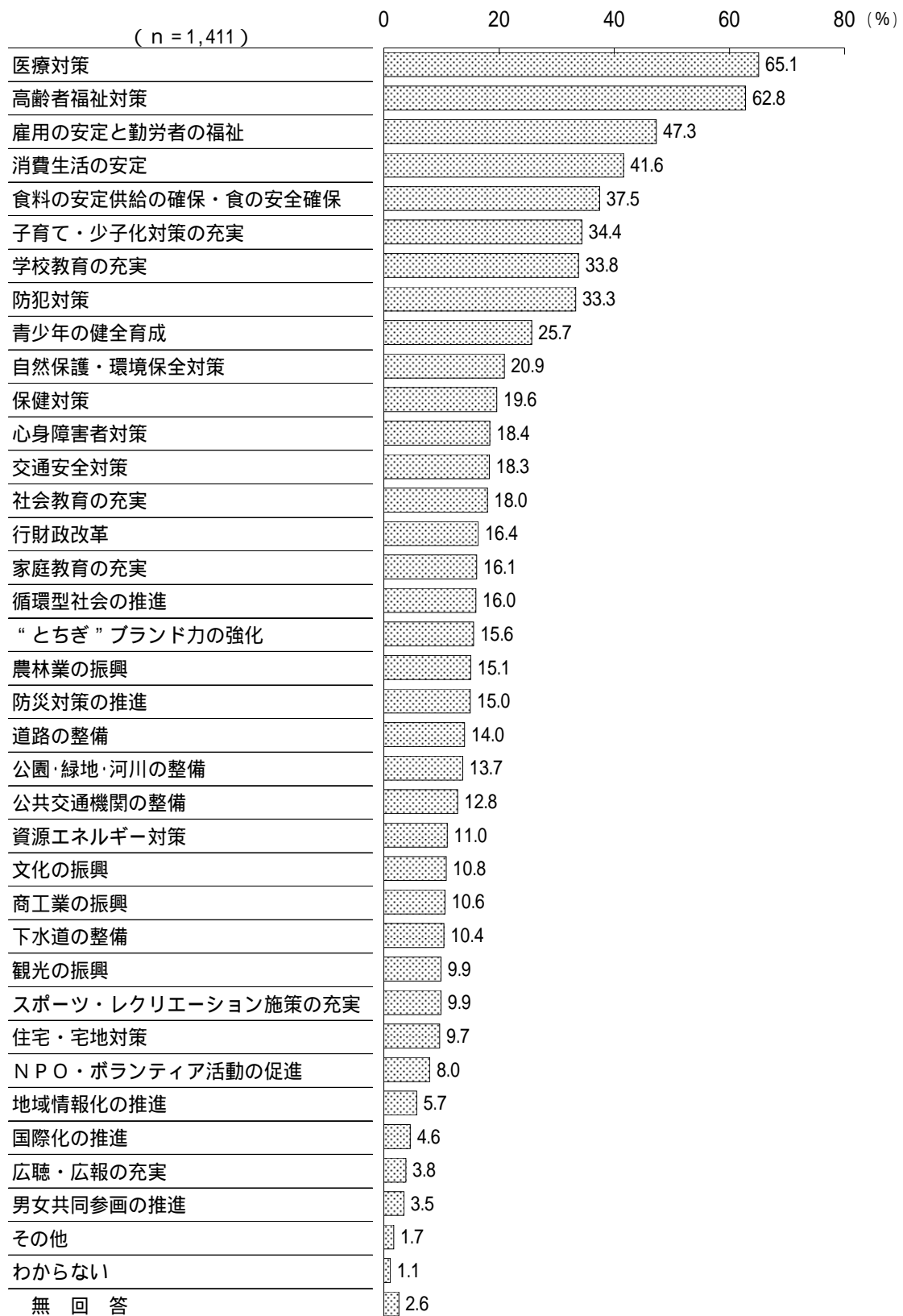
2 県政への要望について

(1) 県政への要望

問5 県では、皆様のご理解とご協力を得ながら「活力と美しさに満ちた郷土“とちぎ”づくり」をめざしているいろいろな仕事をしています。あなたが、県政に対して、特に力を入れてほしいことは何ですか。次の中からいくつでも選んでください。

[n = 1,411]

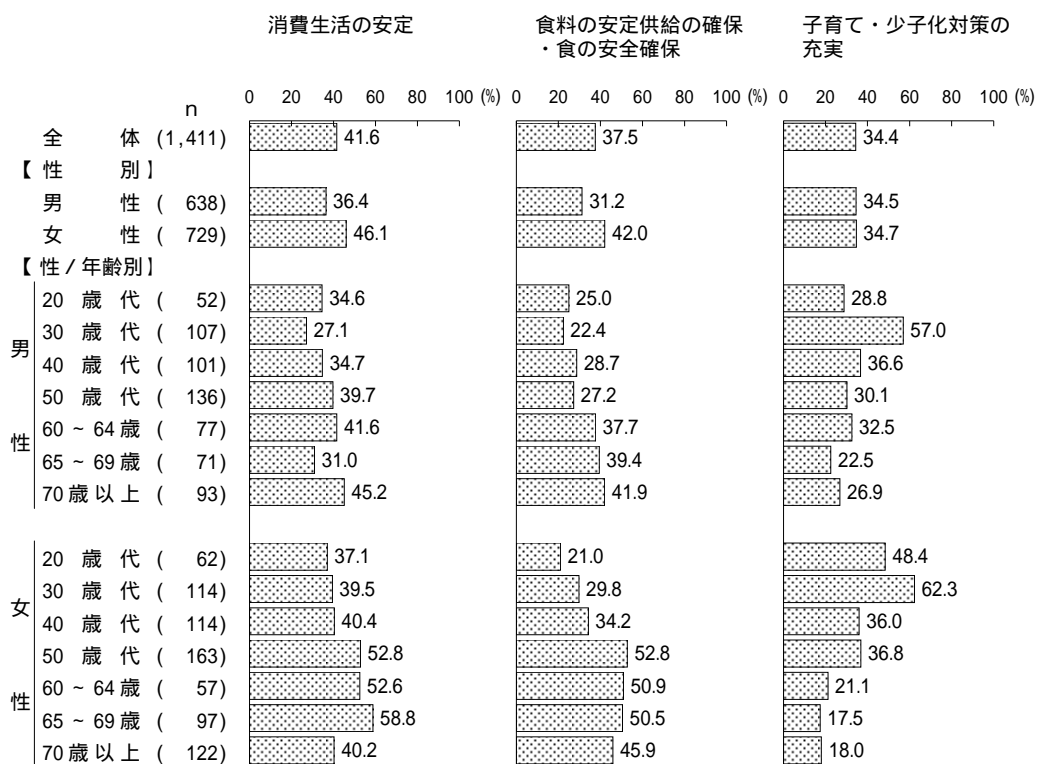
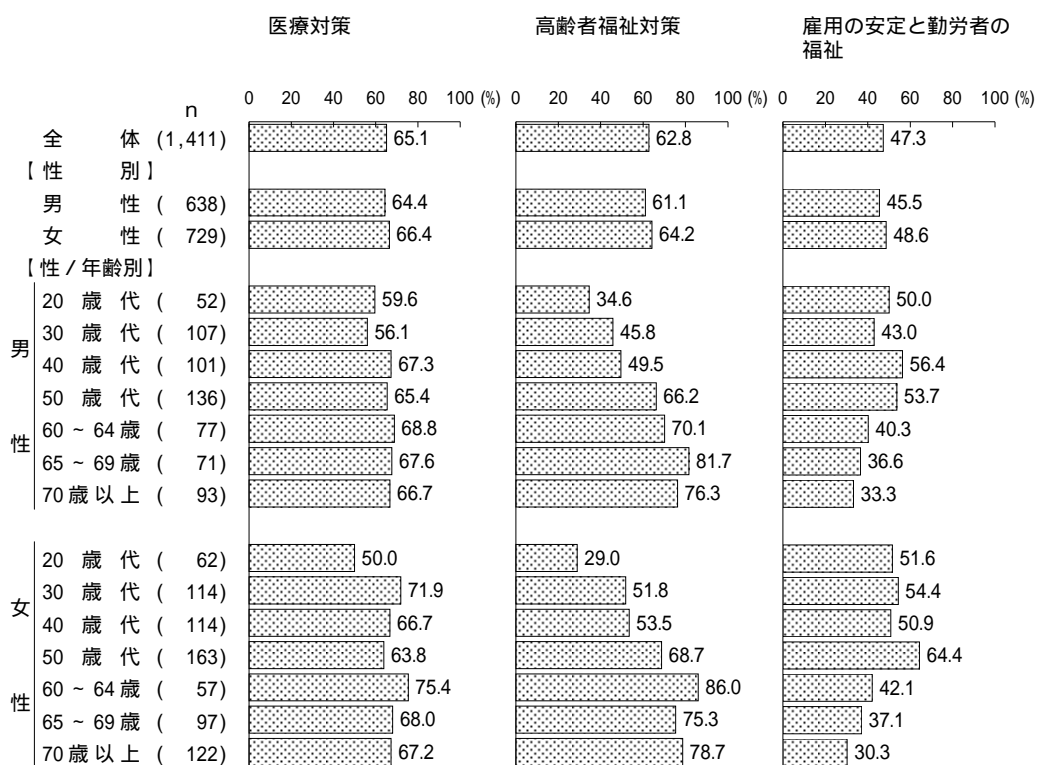
1	学校教育の充実	33.8%
2	青少年の健全育成	25.7
3	家庭教育の充実	16.1
4	社会教育の充実	18.0
5	文化の振興	10.8
6	スポーツ・レクリエーション施策の充実	9.9
7	NPO・ボランティア活動の促進	8.0
8	広聴・広報の充実	3.8
9	国際化の推進	4.6
10	子育て・少子化対策の充実	34.4
11	高齢者福祉対策	62.8
12	心身障害者対策	18.4
13	医療対策	65.1
14	保健対策	19.6
15	男女共同参画の推進	3.5
16	農林業の振興	15.1
17	食料の安定供給の確保・食の安全確保	37.5
18	商工業の振興	10.6
19	観光の振興	9.9
20	雇用の安定と勤労者の福祉	47.3
21	住宅・宅地対策	9.7
22	資源エネルギー対策	11.0
23	下水道の整備	10.4
24	公園・緑地・河川の整備	13.7
25	公共交通機関の整備	12.8
26	道路の整備	14.0
27	地域情報化の推進	5.7
28	防災対策の推進	15.0
29	防犯対策	33.3
30	交通安全対策	18.3
31	消費生活の安定	41.6
32	自然保護・環境保全対策	20.9
33	循環型社会の推進(リサイクル・廃棄物対策)	16.0
34	行財政改革	16.4
35	“とちぎ”ブランド力の強化	15.6
36	その他	1.7
37	わからない	1.1
	(無回答)	2.6



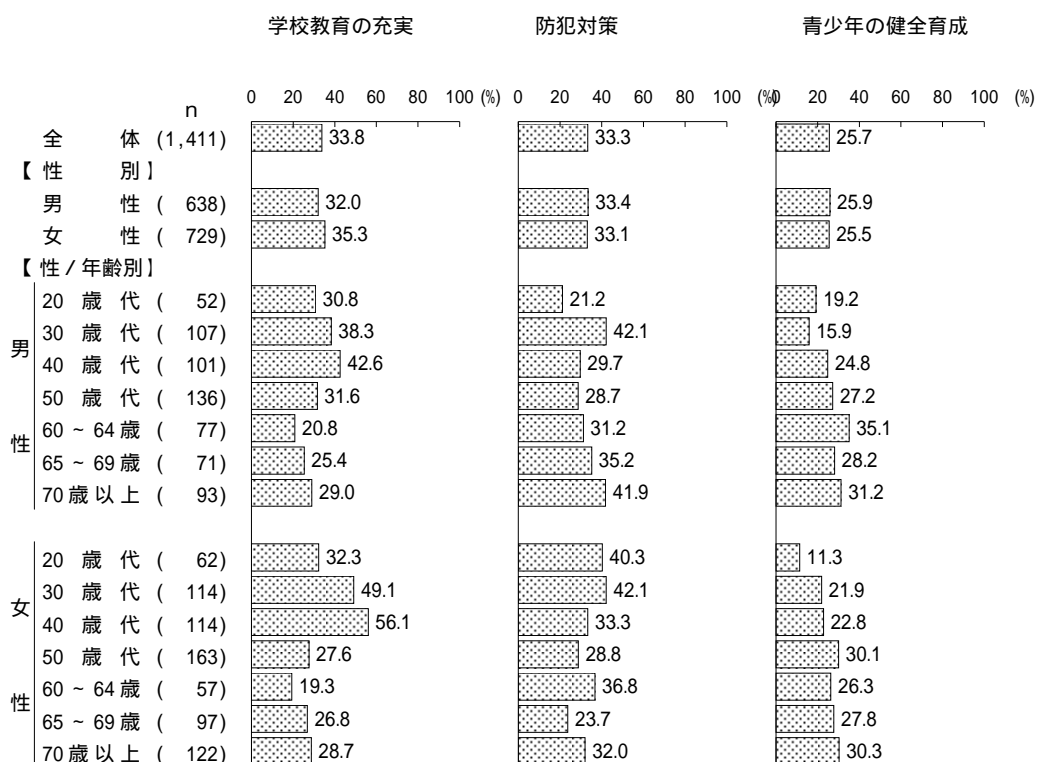
- 全体で見ると、「医療対策」(65.1%)と「高齢者福祉対策」(62.8%)の2項目が6割以上と特に高く、次いで「雇用の安定と勤労者の福祉」(47.3%)、「消費生活の安定」(41.6%)、「食料の安定供給の確保・食の安全確保」(37.5%)、「子育て・少子化対策の充実」(34.4%)、「学校教育の充実」(33.8%)、「防犯対策」(33.3%)の順となっている。

[性別・性/年齢別]

(上位9項目)

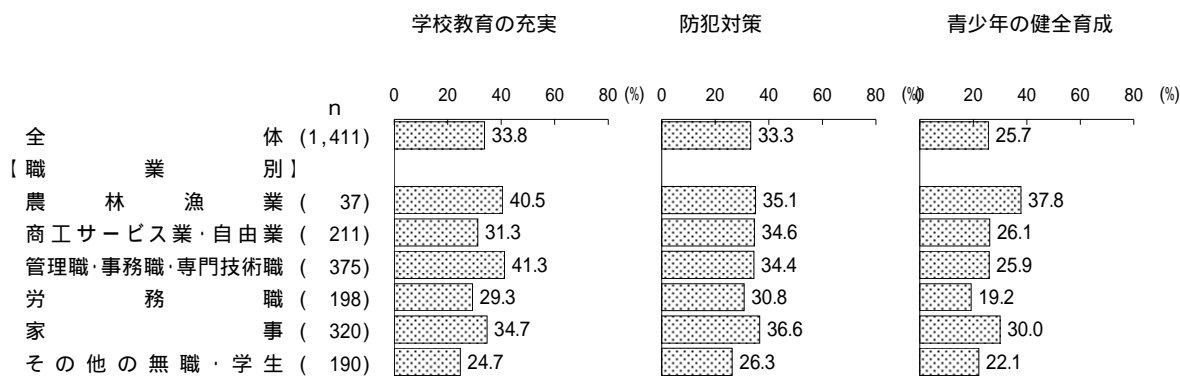
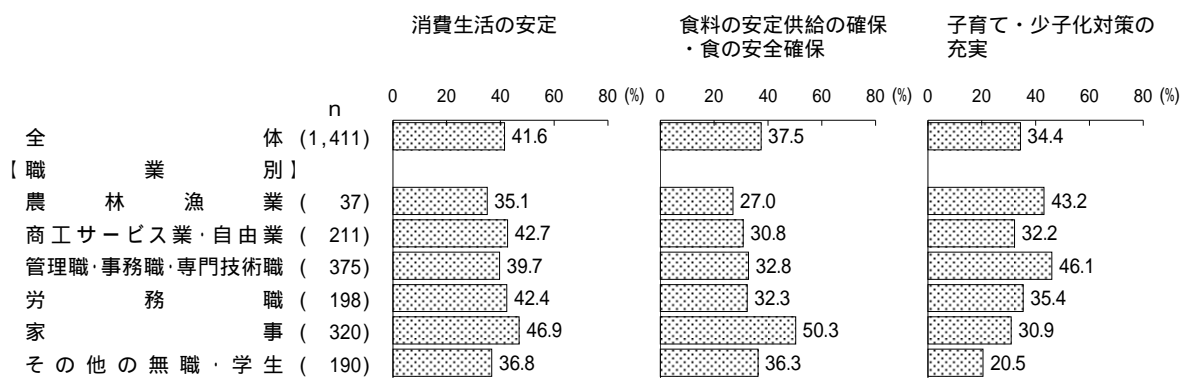
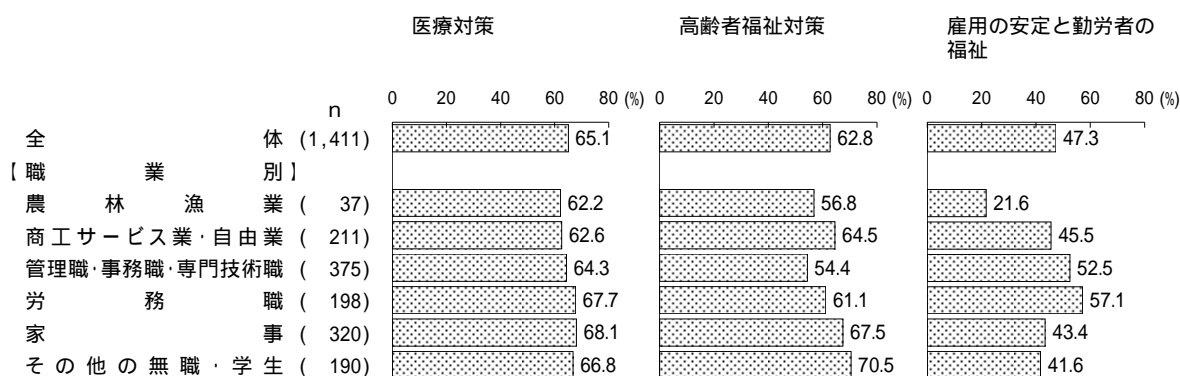


[性別・性/年齢別]
 (上位 9 項目)



- ・ 性別で見ると、「食料の安定供給の確保・食の安全確保」では 女性 (42.0%) が 男性 (31.2%) より 10.8 ポイント高く、男女間の差が最も大きくなっている。
- ・ 性/年齢別で見ると、「高齢者福祉対策」では男性は高い年代ほど比較的割合が高い傾向にあり、また 女性 60~64 歳 が 86.0% と最も高くなっている。「雇用の安定と勤労者の福祉」では 女性 50 歳代 が 64.4%、「消費生活の安定」では 女性 65~69 歳 が 58.8% と他の年代と比べて最も高くなっている。「食料の安定供給の確保・食の安全確保」では 女性 50 歳代 (52.8%)、女性 60~64 歳 (50.9%)、女性 65~69 歳 (50.5%) が 5 割以上、「子育て・少子化対策の充実」では 女性 30 歳代 (62.3%) と 男性 30 歳代 (57.0%) が 6 割前後、「学校教育の充実」では 女性 40 歳代 が 56.1% とそれぞれ他の年代と比べて高くなっている。

[職業別]
 (上位 9 項目)



- ・ 職業別でみると、「高齢者福祉対策」では その他の無職・学生 が70.5%と最も高くなっている。「雇用の安定と勤労者の福祉」では 労務職 が57.1%、「消費生活の安定」では 家事 が46.9%、「食料の安定供給の確保・食の安全確保」では 家事 が50.3%、「子育て・少子化対策の充実」では 管理職・事務職・専門技術職 が46.1%とそれぞれ他の職業と比べて最も高くなっている。

[過去の調査結果]

(上位5項目)

順位 年	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
平成21年	医療対策 65.1%	高齢者福祉対策 62.8%	雇用の安定と勤労者の福祉 47.3%	消費生活の安定 41.6%	食料の安定供給の確保・食の安全確保 37.5%
平成20年	高齢者福祉対策 62.9%	医療対策 60.7%	消費生活の安定 44.3%	食料の安定供給の確保 41.6%	防犯対策 39.2%
平成19年	高齢者福祉対策 62.6%	医療対策 57.6%	防犯対策 36.3%	雇用の安定と勤労者の福祉 35.8%	学校教育の充実 35.6%
平成18年	高齢者福祉対策 55.2%	医療対策 51.4%	防犯対策 40.3%	子育て・少子化対策の充実 37.2%	雇用の安定と勤労者の福祉 36.8%
平成17年	高齢者福祉対策 56.3%	医療対策 51.0%	防犯対策 43.6%	青少年の健全育成 37.9%	雇用の安定と勤労者の福祉 37.6%
平成16年	高齢者福祉対策 55.1%	医療対策 45.6%	雇用の安定と勤労者の福祉 39.7%	防犯対策 35.9%	青少年の健全育成 34.3%
平成15年	高齢者福祉対策 55.6%	医療対策 46.7%	雇用の安定と勤労者の福祉 41.5%	青少年の健全育成 / 防犯対策 34.1%	
平成14年	高齢者福祉対策 57.1%	医療対策 48.3%	雇用の安定と勤労者の福祉 41.7%	青少年の健全育成 34.5%	廃棄物の処理対策 32.7%
平成13年	高齢者福祉対策 51.7%	青少年の健全育成 43.6%	廃棄物の処理対策 42.0%	医療対策 39.9%	雇用の安定と勤労者の福祉 36.2%
平成12年	老人福祉対策 41.5%	青少年の健全育成 39.3%	廃棄物の処理対策 34.1%	学校教育の充実 34.0%	雇用の安定と勤労者の福祉 31.3%
平成11年	老人福祉対策 46.5%	廃棄物の処理対策 42.8%	医療対策 39.2%	雇用の安定と勤労者の福祉 39.1%	青少年の健全育成 35.5%
平成10年	老人福祉対策 47.3%	医療対策 39.2%	物価対策 34.2%	廃棄物の処理対策 33.8%	雇用の安定と勤労者の福祉 29.5%
平成9年	老人福祉対策 48.2%	医療対策 41.0%	廃棄物の処理対策 30.1%	下水道の整備 26.7%	学校教育の充実 25.0%
平成8年	老人福祉対策 48.1%	医療対策 35.5%	下水道の整備 32.9%	廃棄物の処理対策 29.8%	道路の整備 23.8%
平成7年	老人福祉対策 46.6%	廃棄物の処理対策 34.9%	医療対策 33.3%	下水道の整備 30.1%	物価対策 28.8%

平成12年まで「高齢者福祉対策」は「老人福祉対策」

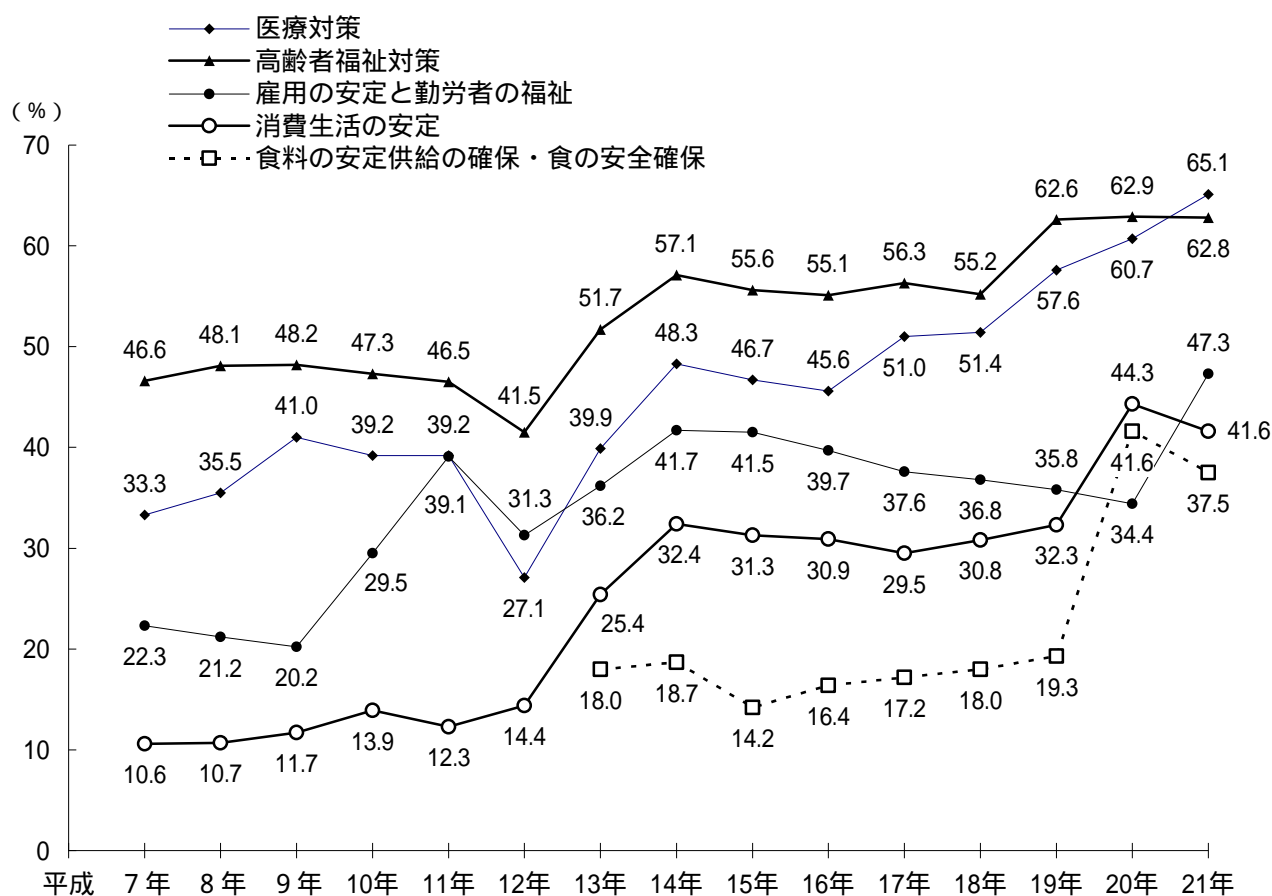
平成12年まで「消費生活の安定」は「消費者保護対策」

平成20年まで「食料の安定供給の確保・食の安全確保」は「食料の安定供給の確保」であり、平成13年より加わった選択肢である。

- ・ 上位5項目を過去の調査結果と比較すると、平成14年から昨年まで2位であった「医療対策」が昭和61年以来初めて1位となり、「老人福祉対策」を含めると平成2年から19年連続1位であった「高齢者福祉対策」が2位となっている。また、「消費生活の安定」が4位、「食料の安定供給の確保・食の安全確保」が5位に下がり、代わって「雇用の安定と勤労者の福祉」が平成16年以来5年ぶりに3位に加わっている。

[過去の結果の推移]

(上位 5 項目)



平成 12 年まで「高齢者福祉対策」は「老人福祉対策」

平成 12 年まで「消費生活の安定」は「消費者保護対策」

平成 20 年まで「食料の安定供給の確保・食の安全確保」は「食料の安定供給の確保」であり、平成 13 年より加わった選択肢である。

上位 5 項目について、1 位の「医療対策」は平成 16 年から増加しており、前回（平成 20 年）より 4.4 ポイント増加している。2 位の「高齢者福祉対策」はほぼ横ばい、3 位の「雇用の安定と勤労者の福祉」は前回（平成 20 年）より 12.9 ポイントと大きく増加している。一方、4 位の「消費生活の安定」、5 位の「食料の安定供給の確保・食の安全確保」は昨年と比べて減少している。